



横浜市立朝比奈小学校

学校だより

令和4年10月27日

第7号



「体験学習よろしくお願ひします」「楽しみです」

校長 神田 敏之

正門で宿泊体験学習の数日前や当日に何人かの子どもから声をかけられました。校長が引率で行くことに対しての言葉です。また、当日の帰りにも「ありがとうございました」などと言われました。このような短い時間のコミュニケーションをいつも楽しんでます。

本校では4年生と5年生と一緒に体験学習へ行きます。班と一緒に作っているのので、5年生が4年生をリードして進めることができます。施設の使い方も経験がある5年生が教えることができます。

事前に班の中で役割分担の話し合いをした時のことです。本校ではリーダー・イン・ミーの考えのもと「だれもがリーダー」として、何か自分でできる役割を果たすことになっています。話し合いの時に、4年生が「地図を持つ」や「人数確認をして報告する」という役割に立候補しました。5年生が心配になり担任に相談したところ「4年生ができるように支えてあげるといふ役割も大切だよ」といふように答えたそうです。

「自分ができることをする」といふリーダーシップの役割だけではなく、「他の人ができるように支える」といふマネジメントの役割へと目が向く機会となりました。

当日にも施設のホールを使用後に、下がったままの椅子を見つけて上げている姿、落ちているごみを拾って持ち帰る姿、トイレに行く人に「荷物を持っていてあげるよ」と声をかける姿など、「自分のリーダー」を働かせている姿をたくさん見ました。もちろん私の気づかない場面で「自分のリーダー」をたくさん働かせている人がいたことでしょう。

4年生が宿泊で不在の間に隣のクラスの1年生が自分たちにできることを話し合いました。乾かしてある前日の牛乳パックを給食室へ運ぶ、掃除の時間に4年生の前の廊下をびかびかにするなどが出されました。1年生は小学校に入ると一番下の学年ですが、幼稚園や保育園では一番上の学年として活躍をしていました。担任の支援の下、相手意識をもって自分で考えて行動するということをしているということを知り、うれしくなりました。

この学校だよりの内側には1年生と2年生の遠足の様子も紹介しています。こちらでも2年生が1年生をリードして進めていました。学校からグループごとに歩いて公園まで行くので、2年生は事前に担任と下見をしました。事前の指導をしているので、子どもたちは当日自信をもって進められるのだと思います。